

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成28年度採択）

中間評価結果（公表用／ハード分野）

番号	研究名	研究代表者	評価
28-7	市街地におけるプロビーム道路照明についての研究開発	北海道大学大学院 教授 萩原 亨	A
<p><研究の概要></p> <p>街路における夜間の横断歩行者事故を防ぐ必要がある。ドライバによる横断歩行者の発見を早める方策とし、街路におけるプロビーム道路照明を開発する。プロビームとは、車両の進行方向に光を照射する方式である。ヘッドライトと照明協調することで歩行者の発見を早めることが期待できる。</p> <p><中間評価></p> <p>シミュレーションや実験を踏まえてプロビーム照明の配光案が提案されるなど、研究の進捗状況は順調であり、研究成果の見通しが期待できることから、現行のとおり推進することが妥当と評価する。</p> <p><参考意見></p> <ol style="list-style-type: none">1. 既存照明とプロビーム照明を組み合わせた設計手法を検討していただきたい。2. 歩行者の移動や車両の走行を勘案した動的な実験を検討する必要がある。3. 従来のトンネルでのプロビーム照明使用法とは異なる独自性を期待する。			

※本中間評価は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第31回新道路技術会議において審議したものである。